

災害に
備えて

車の燃料は満タンですか？



満タン&灯油 プラス1缶運動

ひとかん

車の燃料メーターが
半分程度になったら

満タンに。

灯油はシーズン中に
1缶多めに保管。

注意

灯油はポリタンクに入れ、火気のない冷暗所でしっかり密栓して保管しましょう。翌シーズンに持ち越した灯油を使うと、機器の故障の原因となることがありますので、シーズン中に使い切ることをおすすめします。

車は災害時に役立ちます



災害時、車はプライバシーの確保された一時避難場所となります。さらに、車の燃料が満タンであれば、冷暖房が効いた快適な空間で、車内ラジオからの情報収集やスマホの充電ができるといったメリットがあります。

「満タン&灯油プラス1缶運動」公式キャラクター 全石レン

主催：全石連・都道府県石油組合 協賛：石油連盟・公益社団法人全日本トラック協会・日本ガソリン計量機工業会 後援：内閣府政策統括官（防災担当）・資源エネルギー庁・国土交通省

詳しくはこちら

<https://mantan-undo.jp/>

お問い合わせ先

全国石油商業組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-14 石油会館
TEL: 03-3593-5811 (代) FAX: 03-3580-9245

満タン&灯油プラス1缶運動とは？

「満タン&灯油プラス1缶運動」は、大規模災害発生直後にガソリンや灯油が入手困難になることを避けるため、日頃から車の燃料を満タンにしておくことや、灯油を1缶多めに保管しておくことを推奨する運動です。暖房用の灯油は1缶多めに保管することを心がけることで、災害時に備える活動になります。本運動は、2016年に発生した熊本地震の翌年2017年から始まりました。

検証結果

実際にガソリン車を満タンにして実験したところ、55リットルの車であれば、約2日間車内で過ごせるという結果になりました。また、灯油が1缶あれば約3日間暖がとれることも実験結果から分かったので、冬場の非常用燃料として是非備えていただきたいです。



使用車種:トヨタノア(ガソリン車)
充電対象:iPhone12(ケーブル使用)
測定場所:岡山県岡山市(屋外)
測定時期:7月中旬(日中の時間帯)



使用機器:対流型石油ストーブ
(最大出力)
測定場所:岡山県倉敷市(室内)
測定時期:7月中旬

※灯油はポリタンクに入れ、火気のない冷暗所でしっかり密栓して保管しましょう。翌シーズンに持ち越した灯油を使うと、機器の故障の原因となることがありますので、シーズン中に使い切ることをおすすめします。



全石連発!ガソリンスタンドアイドルユニット
"ふるちやーじ"結成!

オリジナル啓発ソングPV公開中!



◀公式 YouTube はこちら!

毎週当選!Xクイズキャンペーン実施!



◀公式 X はこちら!

ふるちやーじ

GAS STATION IDOL